

## 農山漁村地域整備計画事前評価調書

### ◆計画の概要

計画の名称	水産物の安定供給や生産性の向上及び安全安心な漁港漁村づくりに資する整備計画(4期)
計画策定主体	佐賀県
対象市町村	小城市
計画の期間	令和8年度～令和9年度(2年間)
計画の目標	<p>佐賀県の漁港漁村整備においては、佐賀県総合計画2019に基づき、「活力ある水産業の展開」を柱として、生産力向上のため、安全な陸揚げ作業や漁船を係留できる施設などの漁港整備を推進し、また、安全で効率的な漁港施設の整備として、機能保全計画の策定と機能保全対策の実施と漁港漁村における防災減災対策の実施を推進することとしている。</p> <p>また、佐賀県は台風の常襲地帯に位置していることから、荒天時の防災対策を進め、安全・安心な漁港漁村づくりを目指す。</p>
評価指標	<p>○現在利用している漁具保管施設は作業スペースが狭く利用車両の離合も困難であり、手狭なため近隣の空きスペースも利用している。そのため、漁具保管施設用地の整備(N=1式)を行い、漁業就労環境の安全性向上及び作業効率化を図る。</p>

### ◆評価

項目	評価項目	評価	説明
目標の妥当性	1 関連する計画との整合が図れているか。	○	市町の総合計画の漁業生産基盤強化や労働環境の改善の実施と一致しており、整合性が図られている。
	2 地域の課題に適切に対応する目標となっているか。	○	安全の確保と作業の効率化といった漁港施設整備の課題に適切に対応している。
	3 対象事業の事業内容が目標と指標に密接に関連しているか。	○	事業内容と目標・指標は密接に関連している。
整備計画の効果・効率性	1 事後評価ができる適切な指標となっているか。	○	事業完了時に貨幣化による便益分析可能な指標となっている。
	2 対象事業の実施による効果を評価するための指標として適切なものとなっているか。	○	指標は、事業目的に合致しており、事業実施により発現する効果となっている。
整備計画の実現可能性	1 円滑な事業執行の環境が整っているか。	○	地域住民、漁業者との合意形成が図られており、技術的に可能な内容となっている。
	2 地元の機運が醸成されているか。	○	地元漁協からの実施要望がある。
	3 対象事業のうちに新規着工地区について、事前に実施要件の確認がなされているか。	○	事業内容について事前に、県の審査・確認を受けている。

### ◆評価結果

評価1	○	事業を実施	評価基準	評価1は、全項目に○印がついている。
評価2		計画の見直し		評価2は、1項目でも×印がついている。